

エコアクション21

環境経営レポート



対 象 期 間 ： 2020年7月 ～ 2021年6月

発 行 日 ： 2021年8月1日



株式会社 橘一吉工務店

目 次

1. 組織の概要

2. 認証・登録の対象範囲、レポートの対象期間及び発行日

3. 環境経営方針

4. 環境経営目標

5. 環境経営計画

6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容(実施体制を含む)

7・環境経営目標の達成状況

8. 環境経営計画の実施状況及びその評価結果

9. 次年度環境経営計画

10. 環境関連法規制等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

1. 組織の概要

事業所概要			
事業所名	株式会社 橘一吉工務店		
代表者名	代表取締役 橘 伸太郎		
所在地	本社	香川県高松市花園町2丁目2番5号	
	資材倉庫	香川県高松市川島東町482	
環境管理責任者氏名 及び連絡先	氏名	久保一樹	
	連絡先	TEL	087-861-5470
		FAX	087-861-7987
		MAIL	tatibana@beach.ocn.ne.jp
		HP	http://www.tachibanakk.jp
事業内容	建築工事業 土木工事業 不動産業		
事業の規模	創業	1946年2月1日	
	資本金	2000万円	
	売上高	321百万円(2020年度)	
	工事等の件数	320件(2020年度)	
		本社	資材倉庫
	従業員	13名	無人
	延べ床面積	256. 14㎡	597. 55㎡
事業年度	7月～6月		

2. 認証・登録の対象範囲及びレポートの対象期間及び発行日

認証・登録	
認証・登録番号	0009738
認証・登録事業者	株式会社 橘一吉工務店 香川県高松市花園町2丁目2番5号
認証・登録日	2013年11月18日
更新・登録日	2019年11月18日

認証・登録の対象範囲	
登録事業所	本社 資材倉庫
事業活動	建築工事業 土木工事業 不動産業

レポートの対象期間及び発行日	
対象期間	2020年7月～2021年6月
発行日	2021年8月1日
次回レポート発行日	2022年8月1日

3. 環境経営方針

株式会社 橘一吉工務店 環境経営方針

基本理念

株式会社橘一吉工務店は、皆様の良きパートナーとして、思いやりの心と技術を通じて、地域社会に貢献することを目指します。

行動指針

1. 電力・燃料に伴う二酸化炭素排出量の削減
2. 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
3. 水使用量の削減
4. 環境に配慮した工事の推進
5. 地域での環境活動の実施
6. 環境関連法規・条例・規則や当社が約束したことを遵守します。
7. 環境経営の継続的改善を実施します。

環境経営方針は、全ての従業員及び下請の協力会社様に周知し、環境経営レポートを広く一般に公開します。

制定日：2013年6月13日

改訂日：2019年7月1日

株式会社 橘一吉工務店

代表取締役社長 橘伸太郎

4. 環境経営目標

中期目標

目 的		単 位	基準値	2019年度 目標(－1%)	2020年度 目標(－2%)	2021年度 目標(－3%)
1	二酸化炭素総排出量の削減	kg－CO2	22,043	21,822	21,602	21,381
	1－1 電力使用量の削減	kWh	10,525	10,419	10,314	10,209
	1－2 ガソリン使用量の削減	L	6,972	6,902	6,832	6,762
2	産業廃棄物の削減	kg	30,800	30,492	30,184	29,876
3	一般廃棄物量の削減	kg	544	538	533	527
4	水使用量の削減	m3	294	291	288	285
5	事業活動における環境配慮施工	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%
6	会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回)	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%
7	作業所周辺道路等の清掃活動を行う(年2回)	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%

* 基準値は、2018年度の実績とする。

* 目標値は、基準値比削減とする。

* 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.535kg－CO2(2017年度)とした。

* 建設業は原単位が適切であるが、検討の結果今回は実数にて記載。

* 事業活動における環境配慮施工:手戻り工事の削減を実施する為、下記の3項目に取り組む。

①着工前の事前会議の充実

②工程会議実施の徹底

③コミュニケーションの強化

4. 環境経営目標

単年度目標

目 的		単位	基準値	2020年度 目標(－2%)
二酸化炭素総排出量の削減		kg－CO ₂	22,043	21,602
1	1－1 電力使用量の削減	kWh	10,525	10,314
	1－2 ガソリン使用量の削減	L	6,972	6,832
2	産業廃棄物の削減	kg	30,800	30,184
3	一般廃棄物量の削減	kg	544	533
4	水使用量の削減	m ³	294	288
5	事業活動における環境配慮施工	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%
6	会社周辺の道路等の清掃活動 を行う(月1回)	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%
7	作業所周辺道路等の清掃活動 を行う(年2回)	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%

* 基準値は、2018年度の実績とする。

* 目標値は、基準値比削減とする。

* 電力のCO₂発生量については、四国電力の調整後排出係数0.535kg－CO₂(2017年度)とした。

* 建設業は原単位が適切であるが、検討の結果今回は実数にて記載。

* 事業活動における環境配慮施工:手戻り工事の削減を実施する為、下記の3項目に取り組む。

- ①着工前の事前会議の充実
- ②工程会議実施の徹底
- ③コミュニケーションの強化

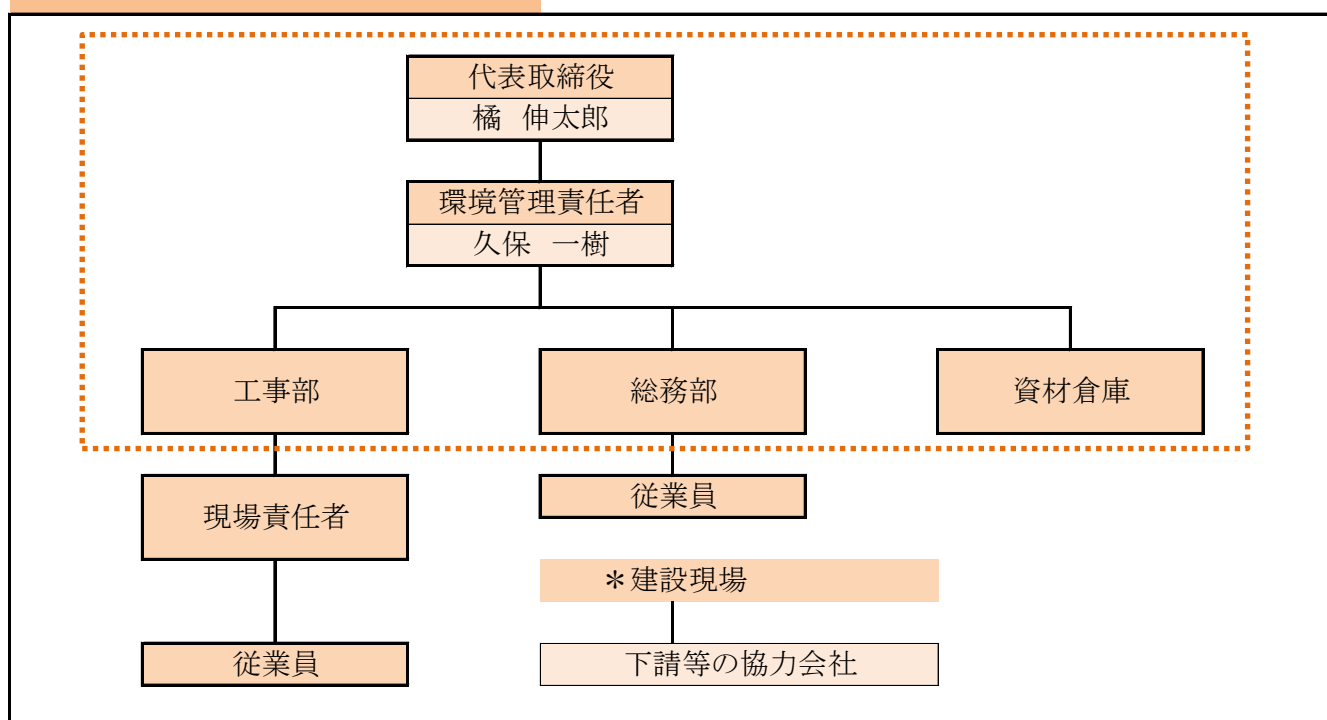
5. 環境経営計画

取組期間:2020年7月1日～2021年6月30日

		目標	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電力使用量の削減	基準値比2%削減	①サーキュレーターを活用する ②エアコンの(気候に合わせた)適正温度の徹底 ③クールビズ・ウォームビズの推進	長尾真
	ガソリン使用量の削減	基準値比2%削減	①ガソリン給油時のタイヤ空気圧の点検 ②車輻外装の清掃を習慣づける ③車輻の燃費確認	久保
廃棄物	産業廃棄物の削減	基準値比2%削減	①混合廃棄物の削減を呼びかける ②段ボールは古紙回収業者へ	久保
	一般廃棄物の削減	基準値比2%削減	①コピー用紙の毎月使用量と料金を前年のデータと併せてグラフ化し、使用場所に掲示 ②ゴミ箱の削減 ③ペーパーレス化の推進	長尾真
水使用量	節水	基準値比2%削減	①毎月の使用量と料金を前年のデータと併せてグラフ化し、使用場所に掲示 ②トイレの大・小レバー使い分けの推進	長尾真
組織本来の取組	事業活動における環境配慮	実施率100%	①着工前の事前会議の充実 ②工程会議実施の徹底 ③コミュニケーションの強化	近藤
地域貢献活動	地域での環境活動	実施率100%	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回) ②作業所周辺道路等の清掃活動を行う(年2回)	長尾真

6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容(実施体制を含む)

株式会社 橘一吉工務店 実施体制図



		役割・責任・権限
代表取締役		・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員への周知 ・全従業員に対する教育・訓練の実施 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境経営レポートを確認し、承認 ・環境関連法規等取りまとめ表の承認
環境管理責任者		・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境経営目標、環境経営計画書を作成 ・環境経営活動の取組結果を代表者に報告 ・環境経営レポートの作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
部門長	総務部	・環境管理責任者の補佐 ・環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・自部門に関する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の特定された緊急事態への対応マニュアル作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
	工事部	・自部門に関する環境経営活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員		・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的、積極的に環境活動へ参加

6. 環境経営計画に基づき実施した取り組み内容(実施体制を含む)

[電力使用量の削減]

①サーキュレーターを活用する

サーキュレーターの代わりに扇風機を活用

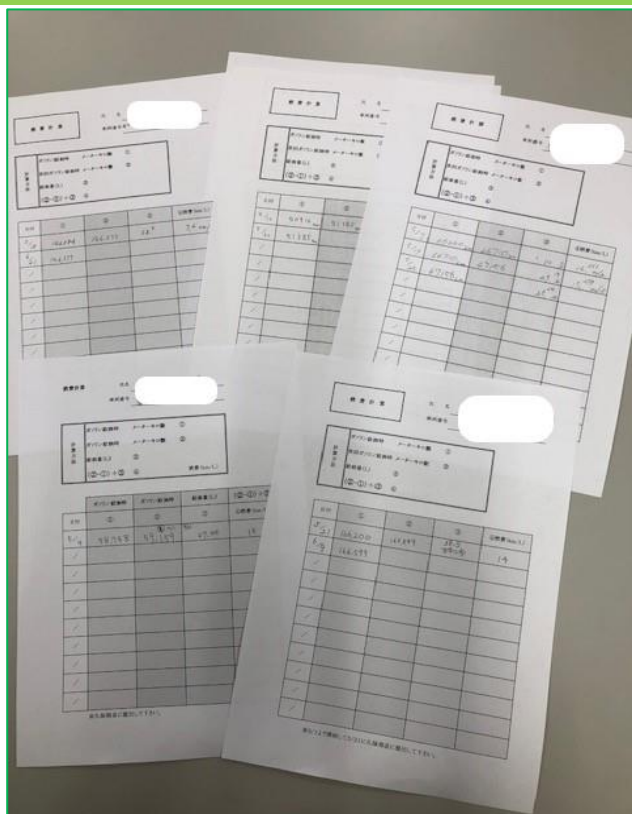


③クールビズ・ウォームビズの推進



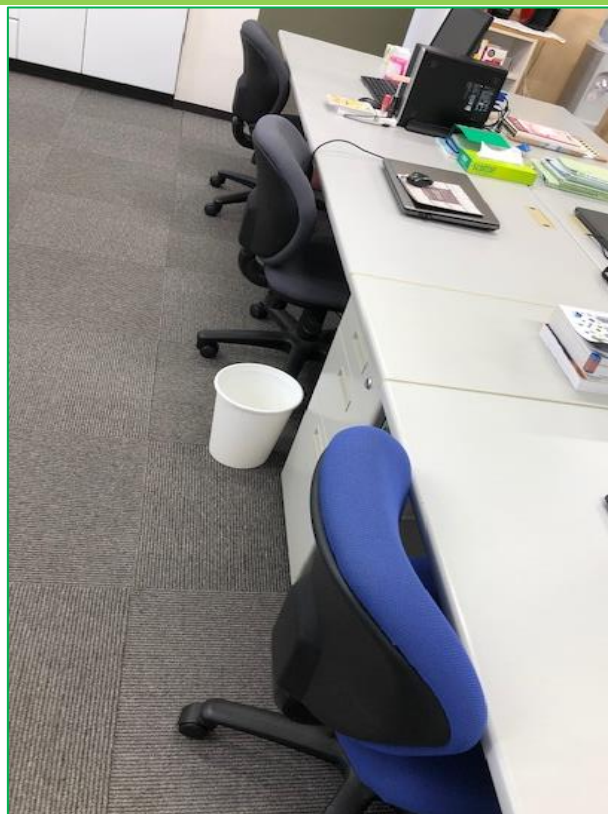
[ガソリン使用量の削減]

③車輦の燃費確認



[一般廃棄物の削減]

②ゴミ箱の削減



作業所での活動



〔地域での環境配慮〕

②作業所周辺道路等の清掃活動を行う(年2回)



7. 環境経営目標の達成状況

取組期間:2020年7月～2021年6月

単年度目標

○:目標達成 ×:目標未達

環境経営目標	単位	基準値	2020年度 目標(－2%)	実績	削減率／ 達成率	評価
二酸化炭素総排出量の削減	kg－CO2	22,043	21,602	20,981	3%減	○
1 1－1 電力使用量の削減	kWh	10,525	10,314	10,907	6%増	×
1 1－2 ガソリン使用量の削減	L	6,972	6,832	6,342	7%減	○
2 産業廃棄物の削減	kg	30,800	30,184	8,300	73%減	○
3 一般廃棄物量の削減	kg	544	533	319	40%減	○
4 水使用量の削減	m3	294	288	79	73%減	○
5 事業活動における環境配慮施工	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	達成率 100%	○
6 会社周辺の道路等の清掃活動 を行う(月1回)	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	達成率 100%	○
7 作業所周辺道路等の清掃活動 を行う(年2回)	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	実施率 100%	達成率 100%	○

* 基準値は、2018年度の実績とする。

* 目標値は、基準値比削減とする。

* 電力のCO2発生量については、四国電力の調整後排出係数0.535kg－CO2(2017年度)とした。

* 建設業は原単位が適切であるが、検討の結果今回は実数にて記載。

* 事業活動における環境配慮施工:手戻り工事の削減を実施する為、下記の3項目に取り組む。

- ①着工前の事前会議の充実
- ②工程会議実施の徹底
- ③コミュニケーションの強化

7. 環境経営目標の達成状況

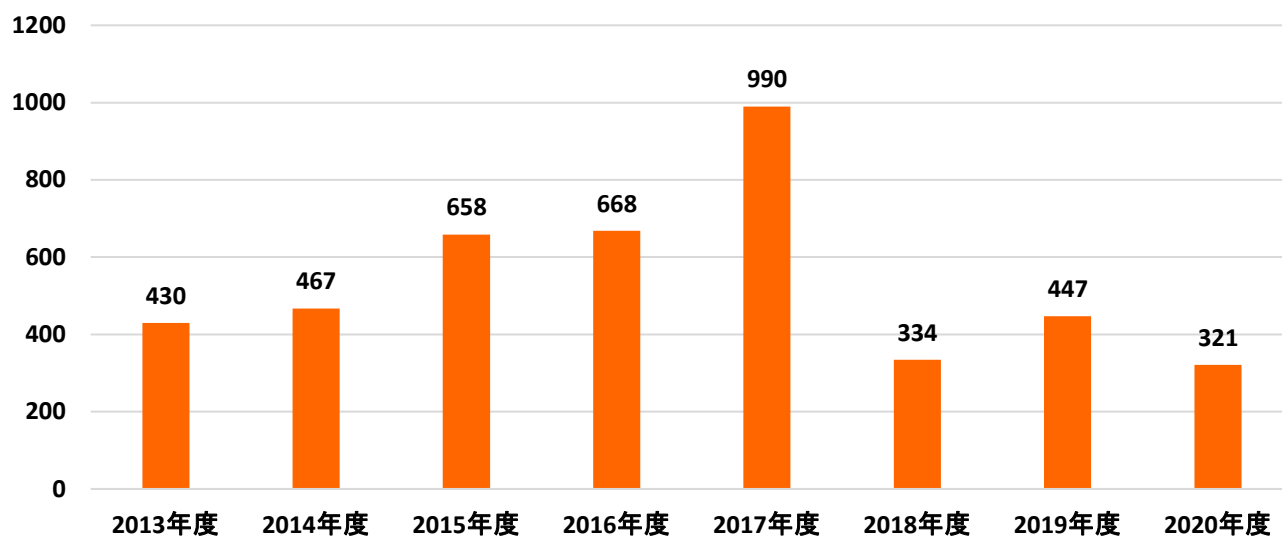
取組期間:2020年7月～2021年6月

環境経営目標		削減率／ 達成率	コメント
1	二酸化炭素総排出量の削減	3%減で 目標達成	・電力使用量は増加したが、ガソリン使用量が、削減された為、微量の削減となり目標達成となった。
	1-1 電力使用量の削減	6%増で 目標未達	・猛暑と厳寒により、エアコンの温度を調整した結果、電力使用量が増加。また、従業員増加により、パソコン使用台数が増え、電力使用量が増加した。
	1-2 ガソリン使用量の削減	7%減で 目標達成	・日々、エコ運転を呼び掛けたことと、各自で燃費計算を行うことにより、意識が高まり、ガソリン使用量が削減された。
2	産業廃棄物の削減	73%減で 目標達成	・産業廃棄物発生作業場の減少と再利用の推進、分別の徹底により、大幅に削減され、目標達成となった。
3	一般廃棄物量の削減	40%減で 目標達成	・毎月コピー用紙使用量をグラフ化・掲示により、使用量を全員が意識し、削減できた。分別の徹底、再利用により、削減。目標達成となった。
4	水使用量の削減	73%減で 目標達成	・2ヶ月ごとの使用量のグラフ化・掲示により、使用量を全員が意識し、削減できた。また、あまり使用していないところの元栓を閉め、使用する時だけ、元栓を開けるようにしたことにより、無駄な使用を抑えることができ、目標達成となった。
5	事業活動における環境配慮施工	達成率 100%で 目標達成	・工事終了後に提出する工事精算書用紙に、チェック項目を作成し、記入時にチェックしている。
6	会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回)	達成率 100%で 目標達成	・毎月の朝礼後に、会社周辺道路等の清掃活動を行った。近隣の方と挨拶を交わしたり、清掃後の道路を通ることが、気持ち良く、続けられている。
7	作業所周辺道路等の清掃活動を行う(年2回)	達成率 100%で 目標達成	・2020年10月と2021年1月に、作業所周辺道路・借地駐車場の清掃活動を分担して行った。

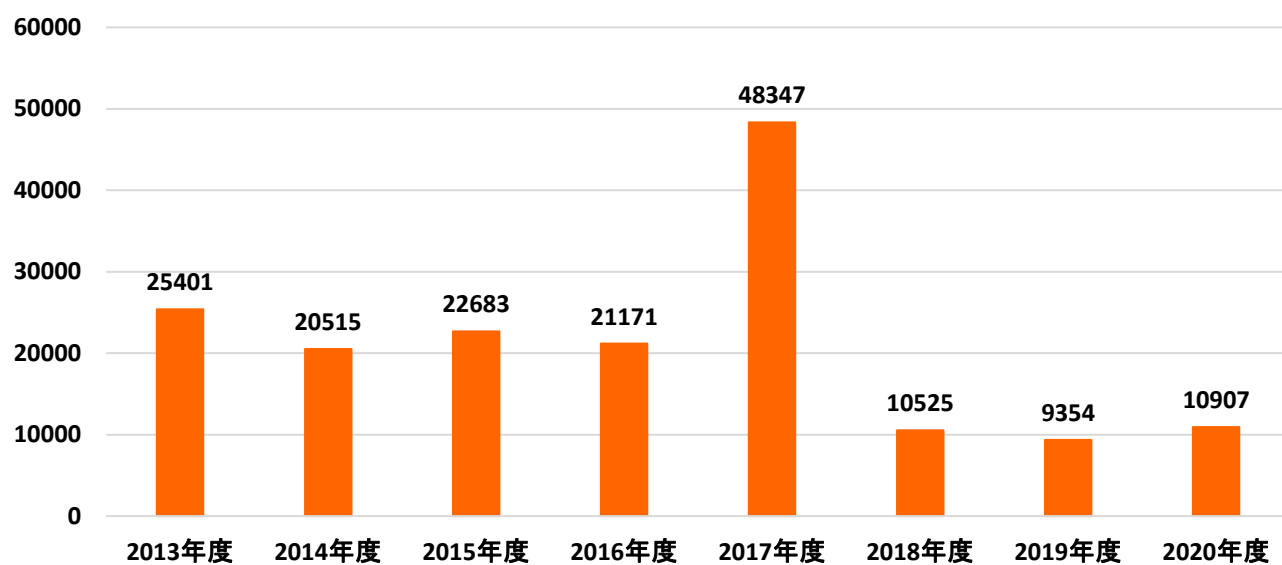
＊事業活動における環境配慮施工:手戻り工事の削減を実施する為、下記の3項目に取り組む。

- ①着工前の事前会議の充実
- ②工程会議実施の徹底
- ③コミュニケーションの強化

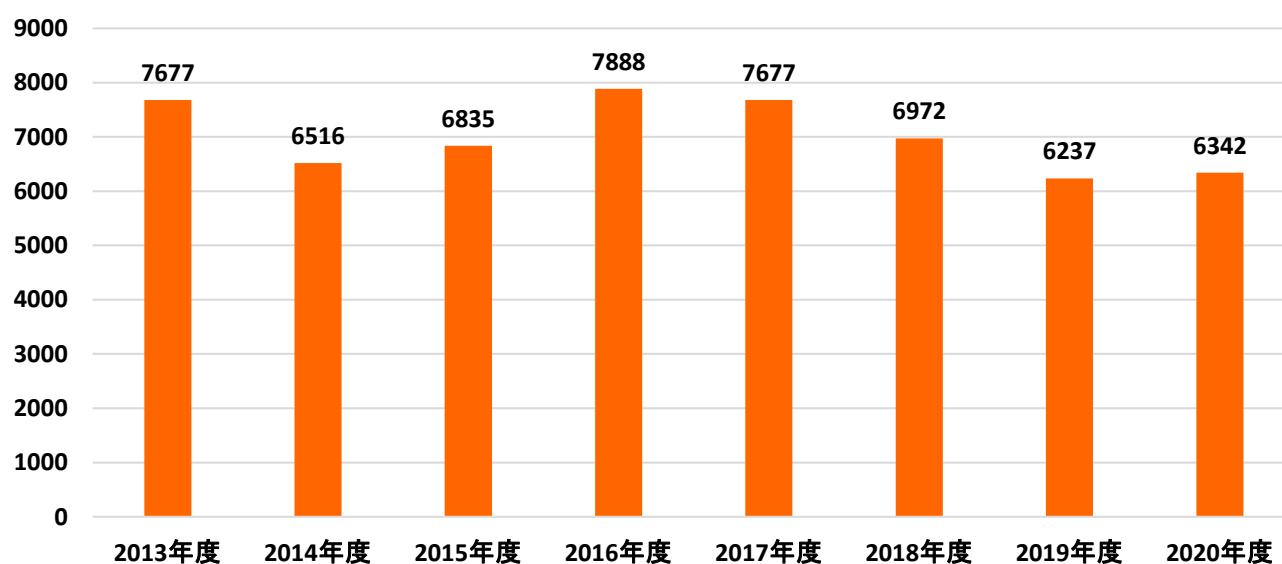
売上高(百万円)



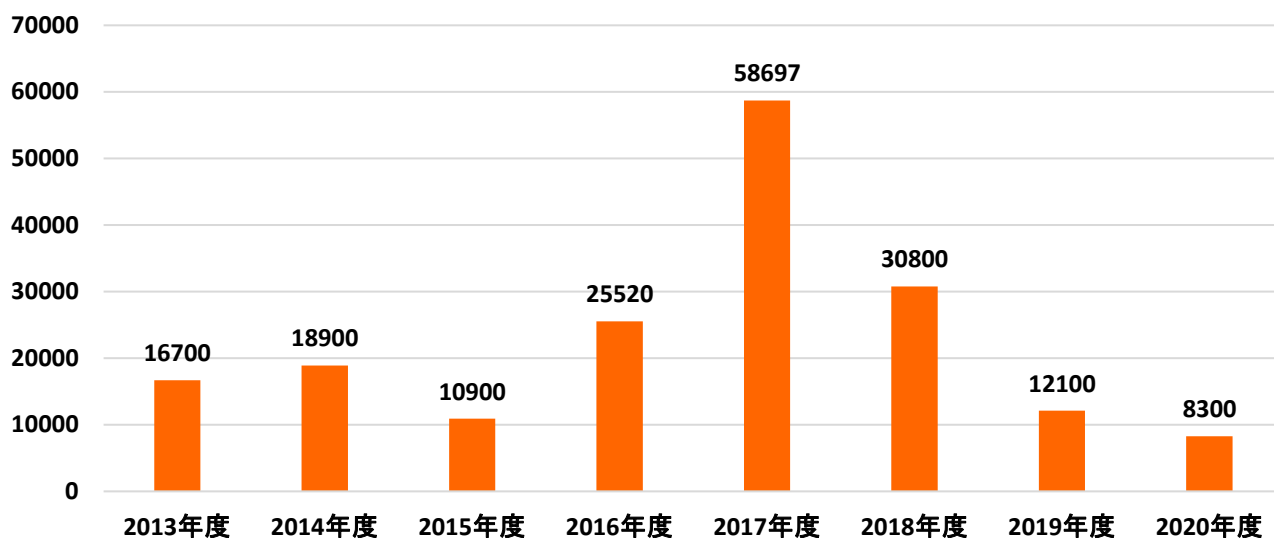
電気使用量(kWh)



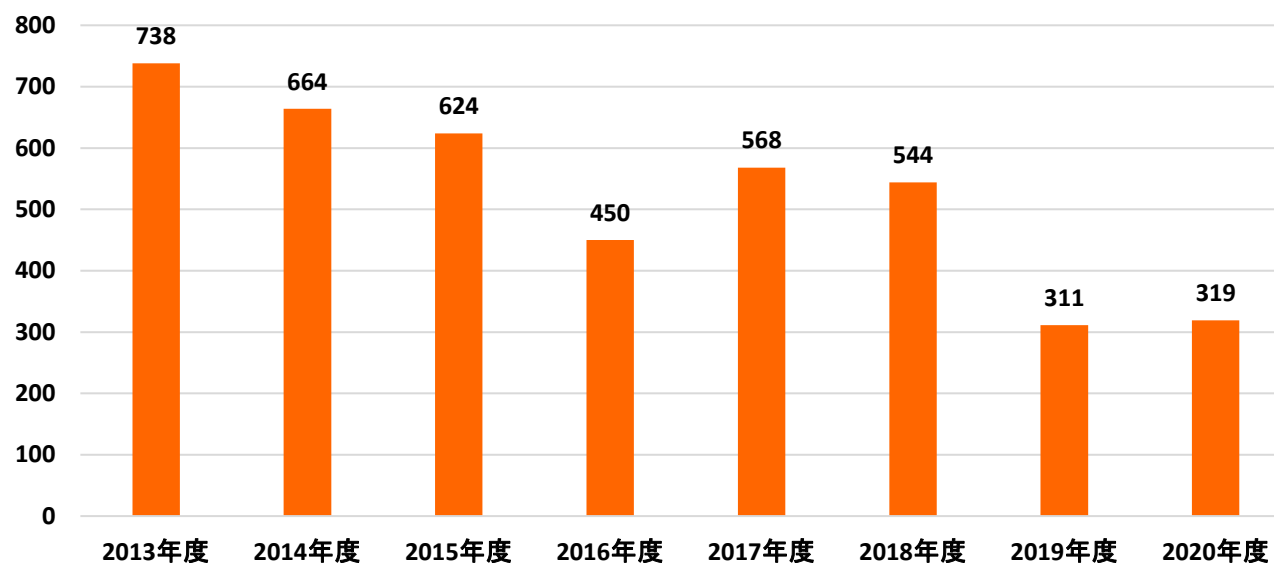
ガソリン使用量(L)



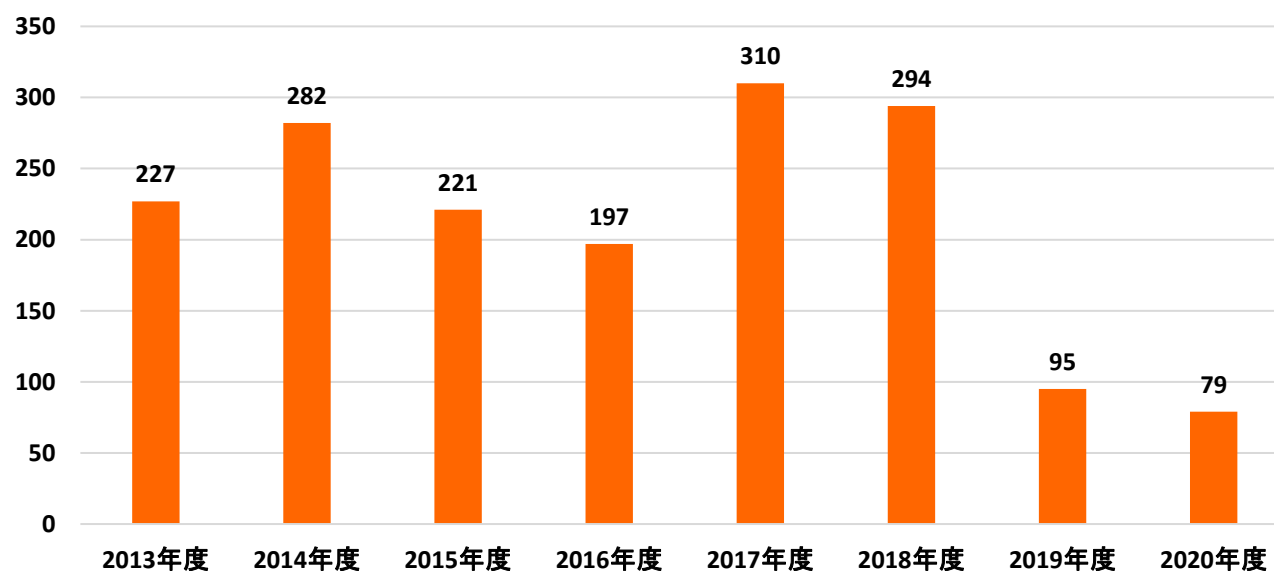
産業廃棄物排出量(kg)



一般廃棄物排出量(kg)



水使用量(m3)



8. 環境経営計画の実施状況及びその評価結果

取組期間:2019年7月1日～2020年6月30日

目的		具体的実施項目	実施 責任 者	評価				
				2020		2021		総合
				7～9	10～12	1～3	4～6	
二 酸 化 炭 素	電力 使用量 の削減	①サーキュレーターを活用する	長尾真	○	○	○	○	○
		②エアコンの(気候に合わせた)適正温度の徹底		○	○	○	○	○
		③クールビズ・ウォームビズの推進		○	○	○	○	○
	ガソリン 使用量 の削減	①ガソリン給油時のタイヤ空気圧の点検	久保	△	△	△	△	△
		②車輦外装の清掃を習慣づける		△	△	△	△	△
		③車輦の燃費確認		○	○	○	○	○
廃 棄 物	産業 廃棄物 の削減	①混合廃棄物の削減を呼びかける	久保	○	○	○	○	○
		②段ボールは古紙回収業者へ		○	○	○	○	○
	一般 廃棄物 の削減	①コピー用紙の毎月使用量と料金を前年の データと併せてグラフ化し、使用場所に掲示	長尾真	○	○	○	○	○
		②ゴミ箱の削減		○	○	○	○	○
		③ペーパーレス化の推進		○	○	○	○	○
	水 使用 量	①毎月の使用量と料金を前年のデータと 併せてグラフ化し、使用場所に掲示	長尾真	○	○	○	○	○
		②トイレの大・小レバー使い分けの推進		○	○	○	○	○
組 織 本 来 の 取 組	事業活動 における 環境配慮	①着工前の事前会議の充実	近藤	○	○	○	○	○
		②工程会議実施の徹底		○	○	○	○	○
		③コミュニケーションの強化		○	○	○	○	○
地 域 貢 献 活 動	地域で環 境活動	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回)	長尾真	○	○	○	○	○
		②作業所周辺道路等の清掃活動を行う(年2回)		-	○	○	-	○

○:計画通り実施

△:一部できていない

×:できていない

8. 環境経営計画の実施状況及びその評価結果

目的		具体的実施項目	評価コメント
二酸化炭素	電力使用量の削減	①サーキュレーターを活用する ②エアコンの(気候に合わせた)適正温度の徹底 ③クールビズ・ウォームビズの推進	①サーキュレーターの購入はせず、扇風機を使用し、空気を循環させ、エアコンの効率化を図った。 ②朝、昼、夕方とこまめに温度調節をした。 ③ポスターを掲示した。
	ガソリン使用量の削減	①ガソリン給油時のタイヤ空気圧の点検 ②車輻外装の清掃を習慣づける ③車輻の燃費確認	①ガソリン給油時に空気圧をチェックしている。 ②毎月1日の車輻点検時に汚れていないかチェックし、汚れていれば清掃している。 習慣になるまで続ける。 ③燃費確認用紙に各自で記入した。
廃棄物	産業廃棄物の削減	①混合廃棄物の削減を呼びかける ②段ボールは古紙回収業者へ	①廃棄物の分別を呼び掛けた ②業者に回収してもらっている。
	一般廃棄物の削減	①コピー用紙の毎月使用量と料金を前年のデータと併せてグラフ化し、使用場所に掲示 ②ゴミ箱の削減 ③ペーパーレス化の推進	①毎月、使用量と料金が分かり次第、グラフを作成し使用場所に掲示している。 ②ゴミ箱の数を減らした。(2人に1個、3人に1個) ③エクセルで作成した日誌に打ち込み、PDFに変換し、上司にメール送信している。 ③クラウド、スマートフォンを導入し、書類等の確認を画面上でできるようにし、無駄なコピーを減らした。
水使用量	節水	①毎月の使用量と料金を前年のデータと併せてグラフ化し、使用場所に掲示 ②トイレの大・小レバー使い分けの推進	①2ヶ月ごと、使用量と料金が分かり次第、グラフを作成し使用場所に掲示している。 ②トイレにポスターを貼っている。
組織本来の取組	事業活動における環境配慮	①着工前の事前会議の充実 ②工程会議実施の徹底 ③コミュニケーションの強化	小工事請求書作成用紙に、①～③に関するチェック項目を記載し、記入している。
地域貢献活動	地域での環境活動	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回) ②作業所周辺道路等の清掃活動を行う(年2回)	①毎月朝礼後に、会社周辺道路の清掃活動を実施している。 ②作業所周辺道路等の清掃活動を分担して行った。

9. 次年度環境経営計画

取組期間:2021年7月1日～2022年6月30日

		目標	具体的実施項目	実施責任者
二酸化炭素	電力使用量の削減	基準値比 3%削減	①毎月の使用量と料金を前年のデータと併せてグラフ化し、使用場所に掲示 ②エアコンの(気候に合わせた)適正温度の徹底 ③クールビズ・ウォームビズの推進	長尾真
	ガソリン使用量の削減	基準値比 3%削減	①ガソリン給油時のタイヤ空気圧の点検 ②車輻外装の清掃を習慣づける ③車輻の燃費確認	久保
廃棄物	産業廃棄物の削減	基準値比 3%削減	①混合廃棄物の削減を呼びかける ②段ボールは古紙回収業者へ ③倉庫内資材の整理をする	細谷
	一般廃棄物の削減	基準値比 3%削減	①コピー用紙の毎月使用量と料金を前年のデータと併せてグラフ化し、使用場所に掲示 ②FAX・郵送よりもメールでのやり取りを多用する ③不要FAXの受信拒否	長尾真
水使用量	節水	基準値比 3%削減	①毎月の使用量と料金を前年のデータと併せてグラフ化し、使用場所に掲示 ②トイレの大・小レバー使い分けの推進	長尾真
組織本来の取組	事業活動における環境配慮	実施率 100%	①着工前の事前会議の充実 ②工程会議実施の徹底 ③コミュニケーションの強化	近藤
地域貢献活動	地域での貢献活動	実施率 100%	①会社周辺の道路等の清掃活動を行う(月1回) ②作業所周辺道路等の清掃活動を行う(年2回)	長尾真

10. 環境関連法規制等の順守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境法規制等の順守をチェックした結果、環境関連法規等への違反はありませんでした。関係当局よりの違反訴訟などの指摘も過去5年間ありませんでした。

今後も定期的に順守確認を行い、法規制から逸脱することのないように致します。

法 規 制	順守確認
廃棄物処理法	順守
建設リサイクル法	順守
容器包装リサイクル法	順守
オフロード法	順守
建築基準法	順守
香川県環境基本条例	順守
高松市環境基本条例	順守
作業所で同意するその他の要求事項	順守

※ 環境法規制等順守チェックリストより抜粋

11. 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ☒ 定期見直し（事業年度終了後）
☐ 臨時見直し

評価実施日		2021年8月1日
見直しに必要な情報	環境管理責任者の報告及び改善への提案	
	取組状況の評価結果	①環境関連法規等の遵守状況 違反・訴訟はありませんでした。
		②問題点の是正及び予防措置の状況 問題点はありませんでした。
	環境経営目標・環境経営計画の達成状況	概ね目標達成となったが、電力使用量が6%増となり、目標未達成となった。厳しい気候と従業員の増加が原因と考えられる。環境経営計画についても、概ね計画通り実施できた。サーキュレーターを購入せず、扇風機を活用した。タイヤ空気圧点検・車輻外装清掃については、習慣になるまで続けていく。
	周囲の変化の状況	①環境コミュニケーション(内部・外部) 外部からの苦情等はありませんでした。 内部については、勉強会を3ヶ月ごとに実施、工事会議、お客様会議を行い、情報の共有ができています。
		②環境関連法規等の動向他 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」「建設業における新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」が追加
代表者による見直し	環境管理責任者から改善への提案、コメント	今期は、概ね目標達成、計画通り実施となった。来期もレベルアップを図り、計画を実施、目標達成できるようにします。 無駄の削減に、今まで以上に全員で取り組みます。
	変更の必要性の有無・指示事項など	
	環境経営方針	変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無 同方針にて取り組む。
	環境経営目標・環境経営計画	変更の必要性 ☒ 有 ☐ 無 環境経営目標については、変更なし。 環境経営計画については、習慣付くまで続けるものと新たに項目を設定するものを考える。
	実施体制	変更の必要性 ☐ 有 ☒ 無
	総括	社会環境、気候、法令、新型コロナウイルス等の求められる手法が変化していく中でも、「未来のために考えて行動する」という基本的な考えを忘れず、変化に対応して次期以降もさらに努力していきます。